

令和5年度 定期総会

(資料)

令和5年7月1日

筑紫丘高校ラグビー部OB会

令和5年度 筑紫丘高校ラグビー部OB会総会(次第)

日時：令和5年7月1日
午後18時～
会場：天神スカイホール
(西日本新聞会館)

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 来賓ご挨拶

4. 議 事 (決議事項)

① 令和4年度事業報告の件

② 令和4年度決算報告及び監査報告の件

③ 令和5年度事業計画(案)の件

④ 令和5年度予算(案)の件

⑤ 役員改選の件

⑥ 会則の改定の件

⑦ その他

5. その他連絡事項

① 筑紫丘高校創立100周年事業「グランド人工芝化」の経緯

② 創部80周年記念実行委員会組織概要

6. 閉 会

会長挨拶「2023年度に向けて」

筑紫丘高校ラグビー部OB会
第9代会長 角 博（第33回卒）

会員の皆様には日頃より、OB会活動ならびに筑紫丘高校ラグビー部の強化運営に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、昨年度は新型コロナ禍の中、OB会活動も思うような事業を行うことができませんでしたが、223名（前年比+3名）の皆様にご会費を納入していただきました。また45名の方より寄付金を9社からバナー広告をいただきました。

心より感謝申し上げます。

私は筑紫丘高校ラグビー部に入部して本年で45年になります。この間ヘッドコーチを含めコーチを30年以上務めさせていただいていますが、筑紫丘ラグビーで培った身体と精神力、そして先輩方後輩の皆様とのご縁が現在の私の心の支えとなっています。その筑紫丘ラグビーへのご恩返しのお返しで、2017年度から会長職をお引き受けしておりますが、会員の皆様との情報共有や低迷する会費の納入率などOB会運営の難しさ、また近年のラグビー人口の減少による部員の確保や授業や模試の増加による練習時間の確保の難しさ、私立高校や修猷館高校などのグラウンドの人工芝化など筑紫丘高校ラグビー部を取り巻く環境の複雑さや厳しさを痛感しているところではありますが、現場の先生方やコーチの皆様のご支え、そしてOB・OG諸氏の心温かいご支援によりOB会活動が運営できていることにこの場を借りて感謝申し上げます。

筑紫丘高校そして筑紫丘ラグビーの魅力と伝統は、「自分たちで考え行動できる自由闊達な校風」にあると思っています。そのような生徒たちを先生や監督が優しく厳しく見守って下さる。その魅力と校風を求めて入学しラグビーを始めた記憶が今でも甦ってきます。そしてもう一つの筑紫丘ラグビーの伝統は先生方とOB会が一体となって高校生を厳しく指導し支援強化していること、そしてラグビーの経験者と未経験者が見事に融合しているところにあります。過去三回の花園出場を成し遂げていますが、まさにOB会の役割と支援が先生方と強固に結びあつての栄光であったことは疑う余地もありません。今後とも指導コーチの派遣を含めて学校（先生）やラグビー部と一体となってチームの強化、生徒の人的成長に尽力していく所存でありますので、会員各位には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新チームのキャプテンは江島君、バイスキャプテンは楠原君です。現在部員は新入部員12名を含めて43名（内3名マネージャー）です。他校が部員獲得に苦勞している中、大変恵まれた部員数でのスタートとなりました。

中村監督、江島主将体制のもと「あたり勝つ、走り勝つ、タックルし勝つ」を合言葉に、ベスト4、県内公立高校NO1、春の全国大会出場そして花園出場にチャレンジしてもらいたいと思います。

筑紫丘高校ラグビー部は、2026年に創部80周年を迎えます。今後、実行委員会組織を立ち上げ様々な準備を行っていきます。今年度はOB会の主催で9月に中国広島遠征（石見智翠館高校・崇徳高校）を行う予定です。また、2026年には2回目となる東京遠征を計画していきます。尚、念願でありました「グラウンドの人工芝化」については筑紫丘高校創立100周年記念事業として決定しました。タモリ実行委員長のもと、寄付金募金活動にも全力で協力していきたいと思っております。

今年も全力で筑紫丘ラグビー部を支援してまいります。創部80周年に向けて会員各位の熱い思いを集結していきましょう。

福岡県高等学校ラグビーフットボール新人大会の結果

3回戦 令和5年1月8日 筑紫丘 7対17 小倉

福岡県高等学校ラグビーフットボール九州大会福岡県予選の結果

2回戦 令和5年5月7日 筑紫丘 31対0 合同チームF
3回戦 令和5年5月14日 筑紫丘 19対10 福岡工業
準々決勝 令和5年5月21日 筑紫丘 5対61 東海大福岡

【事務局からの連絡】

令和4年度のOB会年会費の納入をお願いいたします。

社会人OB 6000円 学生OB 3000円

下記の口座に直接、お振込みをお願いいたします。

過去の分が未納の方は、過去の分も含めて納入いただいても結構です。

店名：福岡銀行筑後支店（店番653） 普通口座

口座番号：2059011

口座名：チクシガオカコウトウガッコウラグビーブOBカイ
カイチョウ スミ ヒロシ

銀行振り込みの場合、お名前の前か後に卒業回数を入力して下さい。

(例) 33 スミ ヒロシ

併せて、**現役強化支援金の寄付**を募っております。

個人一口5000円（法人一口1万円）です。

こちらの方もご支援の程よろしくをお願いいたします。

また、**バナー広告の掲載**（一口：2万円）を募集しております。

会社経営者や個人事業主はよろしくをお願いいたします。

令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I. 事業

1. 現役支援

①夏合宿補助：久住（8月10日～12日）

②春合宿補助：早稲田佐賀高校合同（令和5年3月25日～27日）

2. イベントの実施

①第24回筑紫丘ラグビーフェスティバルの開催

新型コロナ禍のため中止（令和4年4月29日）

②OB戦（初蹴り）

令和5年1月2日に予定していたが新型コロナ禍のため中止

3. ジュニアスクールの運営

4. 筑紫丘高校ラグビー部OB会専用ホームページの運営

5. OB会長による筑紫丘 ROB ライングループの立上げ

現役の状況（練習試合、公式戦、合宿等）、OB会からのお知らせや活動状況を登録者に発信した。（現在登録者数；179名）

6. 筑紫丘高校ラグビー部保護者後援会との連携

令和4年6月・・・夏季総会は中止

令和5年3月19日・・・新型コロナ禍のため卒部式は筑紫丘高校講堂で行われ。

卒業生にはOB会より筑紫丘ラグビークラブネクタイを贈呈した。

7. バナー広告・・・OBの皆様（村上、持田、角、竹林、早瀬、黒木、青柳、坪田）

より申込みをいただきました。

8. 現役強化寄付金の募集・・・787, 112 円の支援をいただきました。

9. 筑紫高校との定期戦

令和4年9月15日に筑紫高校グラウンドにて開催した。

II. 会議

1. 総会

令和3年7月6日に筑紫丘高校視聴覚室で開催した。

2. 役員会・幹事会・コーチ会議

役員会2回、幹事会2回、コーチ会議2回それぞれ開催した。

令和4年度 決算報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

収入の部		
科目	金額(円)	
前年度繰越金	657,994	
HPバナー広告協賛金(9社)	240,000	
会費収入(223名)	1,323,000	
現役強化寄付金	787,112	
ネクタイ収入	0	
雑収入(総会収入・お祝金・利息等)	38	
合計	3,008,144	
支出の部		
科目	詳細	金額(円)
現役支援	フェスティバル (招待校バス代・飲料代)	0
	合宿補助、定期戦補助 (コーチ宿泊交通費・現役差入)	125,089
	現役補助(栄養補助食品補助)	133,764
	OB戦費(飲料代)	0
会議費	役員会・幹事会・コーチ会議	63,520
HP維持費	サーバー料・更新製作費	42,080
保護者後援会会費	夏季総会・卒部式	0
通信費	OB会報等 各種案内	0
印刷費	OB会報印刷費等 各種案内	0
雑費	慶事費、コーチ交通費補助、備品購入等	17,930
小計		382,383
創部80周年積立基金		500,000
現役強化遠征積立金		500,000
次期繰越金		1,625,761
合計		3,008,144

0回卒	
1回卒	
2回卒	
3回卒	
4回卒	
5回卒	
6回卒	
7回卒	
8回卒	
9回卒	竹若 晴喜
10回卒	松浦 辰彦
11回卒	
12回卒	
13回卒	
14回卒	
15回卒	
16回卒	稲垣 穰二
17回卒	
18回卒	
19回卒	
20回卒	
21回卒	
22回卒	堤 和信 、 新飼 太平
23回卒	上永 龍三 、 山浦 和人
24回卒	大六野 耕作 、 久光 一郎
25回卒	野川 文吾 、 金子 常光
26回卒	山川 正洋 、 児玉 信行 、 村上 隆英 、 村瀬 裕明
27回卒	白水 繁隆 、 山城 泰介 、 藤 要 、 富安 治彦
28回卒	岩見 憲二 、 高取 宏行 、 妻島 元太郎 、 竹下 信治
29回卒	脇田 雅和
30回卒	中田 俊一 、 妻島 光二郎 、 中村 孝昭
31回卒	
32回卒	北村 達生 、 田中 秀樹 、 藤 義之 、 荒牧 祐司 、 清原 泰治 、 田中 泰寛
33回卒	鶴野 英一郎 、 角 博 、 中野 俊一郎 、 今福 和幸 、 富沢 紳 、 稲田 泰典 、 原 秀樹
34回卒	江上 幸宏 、 堀家 憲一郎 、 山上 裕治 、 野坂 倫保 、 佐藤 良一
35回卒	伊藤 尚 、 高原 浩之 、 白水 桂太 、 高田 哲 、 照井 敬 、 徳永 響
36回卒	西野 雅博 、 樋口 武史 、 近藤 健 、 馬場 達夫
37回卒	野村 聡 、 大神 徳仁
38回卒	佐々木 亮司 、 竹下 和宏 、 南 秀樹 、 友池 太一 、 大野 裕司 、 野崎 光雄 、 野中 英一郎 、 町田 太郎 、 山村 徹
39回卒	郷田 正 、 坂口 寿史 、 河野 敏治 、 佐竹 龍介 、 中村 成志 、 広瀬 幹也 、 藤 隆利 、 藤丸 幸二 、 八尋 浩平 、 水島 智
40回卒	廣井 紀文 、 八尋 一城 、 江良 耕一 、 落合 勝 、 竹若 啓一 、 前田 禎夫 、 飯田 彰 、 百武 功二
41回卒	石橋 研一 、 佐藤 寛之 、 牛塚 耕治 、 大坪 学博 、 志手 隆之 、 坂井 孝行 、 竹下 明宏 、 藤 智宏
42回卒	石崎 進 、 鷺海 達矢 、 川原田 和久 、 田山 正明 、 西 耕一郎 、 不老 貴規 、 峯 洋一郎 、 藁田 暁 、 吉武 勉 、 江口 智彦 橋爪 崇 、 遠原 治 、 西村 征樹
43回卒	汐崎 史裕 、 関 秀徳 、 増山 隆之 、 青木 信也 、 林田 修治 、 隈部 謙太郎 、 小西 健太郎 、 濱中 泰大 、 タカダツシマ
44回卒	岩本 尚吾 、 清水 圭 、 灘辺 亮 、 福井 渉 、 藁田 達 、 山下 淳 、 幸元 洋征 、 諫山 知広 、 太田 誠一 、 白濱 尊義 永倉 雷太 、 前田 基貴
45回卒	西山 輝彦 、 峯 和史 、 吉富 達昌 、 牛丸 晋 、 黒木 圭一 、 ヤウマルアキヒサ
46回卒	吉上 耕平 、 楠原 顕雄 、 村田 哲弘 、 正木 宏和 、 堀田 雄一郎 、 東 賢二郎 、 塚本 将史 、 根岸 亜野 、 柄本 貴 、 甲木 昌平 緒垣 新吾 、 稲永 寿一 、 青柳 竜門
47回卒	岩崎 剛一郎 、 西田 武史 、 八谷 陽一郎 、 森山 隆一郎
48回卒	早瀬 篤志 、 熊谷 一将 、 脇 健太 、 太田 知昌 、 伊勢 裕基 、 原口 健太郎 、 安枝 稔
49回卒	穴見 晃一 、 清水 隆司
50回卒	森田 啓介 、 筒井 洋貴
51回卒	
52回卒	徳坂 亘 、 緒方 克海 、 下村 国仁 、 山野 健太郎 、 石神 健吾
53回卒	村上 亮平 、 牛込 紘太 、 溝口 多可志 、 山口 宏樹 、 岡 正憲
54回卒	松見 紀男 、 橋本 匠平 、 大隈 祥弘 、 浦上 信介 、 坪田 晋 、 片井 慎一 、 大野 裕介 、 松本 允 、 伊藤 啓太
55回卒	石蔵 義浩 、 篠倉 智明
56回卒	北園 拓郎
57回卒	
58回卒	脇田 大揮
59回卒	松原 弘晃 、 富山 貢
60回卒	中村 総一郎 、 福永 悟視 、 片平 恭佑 、 風 康 、 福原 崇 、 諸岡 泰裕 、 前田 祐二 、 宮原 明 、 大谷 滋
61回卒	天野 貴暢 、 白石 大貴 、 柴田 拳吾
62回卒	高木 大輔 、 小野 宏一郎
63回卒	井上 晃太
64回卒	小田 樹 、 中山 剛
65回卒	村上 浩市
66回卒	古川 優伊 、 志自岐 祐人 、 田中 祐輝 、 諸岡 洋佑 、 平川 創晶 、 松尾 壮志
67回卒	天野 祐一朗
68回卒	西井 直道 、 宇野 詩織 、 岡田 一希 、 鳥越 崇史 、 中村 智昭
69回卒	坂口 航大 、 野村 亨
70回卒	井筒 遼 、 難波 拓人
71回卒	
72回卒	萩尾 勲太
73回卒	
74回卒	ノムラアユム
不明	タチマサヒデ 、 オオハシヒデオ

監査報告書

令和5年6月10日

筑紫丘高校ラグビー部 OB 会

会長 角 博 殿

監事 竹 下 和 宏 

監事 増 山 隆 之 

令和4年度会計諸帳簿、預金通帳等について令和5年6月10日
照合精査の結果、正確に記載されており、決算報告書のとおり
相違ないことを報告いたします。

令和5年度 事業計画(案)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

会員相互の親睦と現役の支援を目的に、以下の三本柱を方針として掲げて事業活動を行っていきます。尚、この三本柱の方針は2025年度までに達成したいと考えています

◎三本柱

1. 会費納入率50%の早期実現
2. 創部80周年事業に向けた準備とチームの強化
3. 会員情報の把握と会員への情報発信の強化

I. 事業

1. 現役支援
 - ①合宿及び定期戦の補助
 - ②中国広島強化遠征への補助
日時：9月17日～18日の一泊二日
対戦相手：石見智翠館、崇徳高校
2. イベントの実施
 - ①第25回筑紫丘ラグビーフェスティバルの開催
令和5年4月29日 招待試合：大分舞鶴
 - ②OB戦の実施
 - ・夏季OB戦：令和5年7月または8月
 - ・初蹴り：令和6年1月2日
3. ジュニアスクールの運営
4. 筑紫丘高校ラグビー部OB会専用ホームページの運営
5. 筑紫丘ROBライングループの拡大による情報発信の強化
6. 筑紫丘高校ラグビー部保護者後援会との連携
令和5年6月・・・夏季総会（OB会長とコーチ）
令和6年3月・・・卒部式（OB会長とコーチ）
7. バナー広告の募集（一口2万円）
8. 寄付金の募集
 - ①強化遠征支援のための積立金
 - ②創部80周年記念事業のための積立金
9. 会費納入率目標の設定と体制や仕組みの整備
2025年度・・・目標50%、2028年度・・・目標70%
 - ①幹事会の設置による依頼体制の構築
 - ・若手OBを中心に各学年幹事の選出

- ② OB 会員名簿（住所・氏名・携帯・メールアドレス等）の整備
- ③ 新たな会費納入方法の確立
- ④ 会費納入率アップのために財務特別委員会を立ち上げる

10. 創部 80 周年（2026 年）に向けた準備

- ① 実行委員会の立ち上げ
- ② 記念事業
 - ・ 記念強化遠征（東京遠征：国学院久我山、早稲田実業）
 - ・ 記念懇親会（通常総会と同日）
 - ・ 記念誌の発刊及び記念グッズの制作
 - ・ 記念試合（ラグビーフェスティバル、ラグビー教室）
 - ・ 寄付金募集（ウエイトトレーニングルーム、ウエイト器具）
- ③ 筑紫丘ジュニアからの入部の促進と推薦入学者の入部強化に向けた取り組み
筑紫丘高校との連携強化

11. その他

- ① 筑紫高校との定期戦（第 2 回）の開催
令和 5 年 7 月 30 日に開催

II. 会 議

1. 総会

令和 5 年 7 月 1 日

2. 役員会・幹事会の開催

6 月、令和 6 年 3 月

3. コーチ会議

6 月、11 月、令和 6 年 2 月

4. ジュニアとの合同役員会

年一回

令和5年度 予算(案)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

収入の部			
科目	金額(円)		
前年度繰越金	1,625,761		
HPバナー広告協賛金(10社)	200,000		
会費収入(250名)	1,500,000		
現役強化遠征積立金戻入	1,000,000		
合計	4,325,761		
支出の部			
科目	詳細	金額(円)	
現役支援	筑紫丘ラグビーフェスティバル開催費	100,000	1,950,000
	強化支援金	800,000	
	中国広島強化遠征費補助	1,000,000	
	OB戦費	50,000	
会議費	役員会・幹事会・コーチ会議・実行委員会等	100,000	
HP維持費	サーバー料・更新料等	100,000	
保護者後援会会費	夏季総会・卒部式	40,000	
通信費	OB会報等 各種案内	50,000	
印刷費	OB会報等 各種案内	50,000	
雑費	慶事費・コーチ宿泊費交通費補助・備品購入費等	100,000	
	インターネットバンキング手数料		
小計		2,390,000	
創部80周年積立基金		500,000	
現役強化遠征積立金		500,000	
次期繰越金		935,761	
合計		4,325,761	

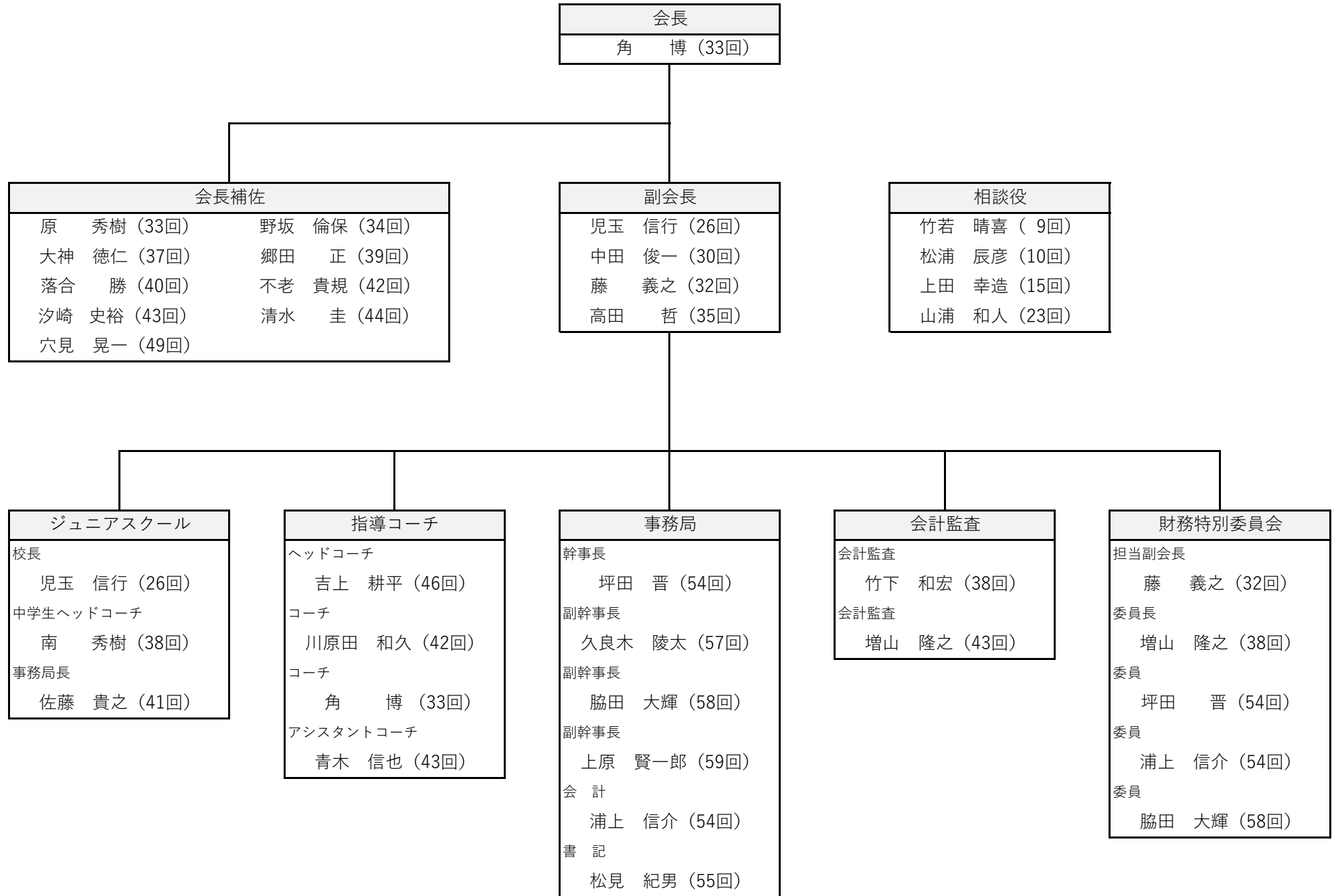
筑紫丘高校ラグビー部OB会役員（案）

会 長	角 博 (33回)	幹事長	坪田 晋 (54回)
副会長	児玉 信行 (26回)	副幹事長 (HP、広報担当)	久良木 陵太 (57回)
〃	中田 俊一 (30回)	〃	脇田 大輝 (58回)
〃	藤 義之 (32回)	〃	上原 賢一郎 (59回)
〃	高田 哲 (35回)	書 記	松見 紀男 (54回)
会長補佐	原 秀樹 (33回)	会 計	浦上 信介 (54回)
〃	野坂 倫保 (34回)	会計監査	竹下 和宏 (38回)
〃	大神 徳仁 (37回)	〃	増山 隆之 (43回)
〃	郷田 正 (39回)	財務特別委員会	
〃	落合 勝 (40回)	担当副会長	藤 義之 (32回)
〃	不老 貴規 (42回)	委員長	増山 隆之 (38回)
〃	汐崎 史裕 (43回)	委員	坪田 晋 (54回)
〃	清水 圭 (44回)	〃	浦上 信介 (54回)
〃	穴見 晃一 (49回)	〃	脇田 大輝 (58回)
ジュニアスクール			
校長	児玉 信行 (26回)	相談役	竹若 晴喜 (9回)
中学生ヘッドコーチ	南 秀樹 (38回)		松浦 辰彦 (10回)
事務局長	佐藤 貴之 (41回)		上田 幸造 (15回)
筑紫丘高校ラグビー部			山浦 和人 (23回)
ヘッドコーチ	吉上 耕平 (46回)		
コーチ	川原田 和久 (42回)		
〃	角 博 (33回)		
アシスタントコーチ	青木 信也 (43回)		

(令和5年7月1日)

筑紫丘高校ラグビー部OB会役員組織図(案)

(令和5年7月1日)



令和5年7月1日

『筑紫丘高等学校ラグビー部OB会』 会 則

(名称及び構成)

第1条 本会は、「筑紫丘高等学校ラグビー部OB会」と称し、筑紫丘高等学校ラグビー部出身者及び役員会での推薦者で構成する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の融和と親睦を図るとともに、母校ラグビー部の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、以下の事業を行う。

- 1) 記念事業等の実施
- 2) 母校ラグビー部活動への後援
- 3) 部外コーチの招へい
- 4) ジュニアスクールの運営
- 5) その他本会の目的に沿う事業等

(役員)

第4条 本会には次の役員を置く。

会長	1名
副会長	若干名（ジュニアスクール校長及び監督を兼務することができる）
会長補佐	若干名
幹事長	1名
副幹事長	若干名
会計	1名
会計監査	2名
書記	1名（副幹事長が兼務することができる）
指導コーチ	若干
ジュニアスクール校長	1名
ジュニアスクール事務局長	1名
ジュニアスクール監督	1名
ジュニアスクール中学生ヘッドコーチ	1名

(役員任期及び選任)

第5条 1) 役員任期は2年とし、その再任は妨げない。
2) 会長の選任は会員よりの推薦とし、総会の承認を得て決定する。

3) その他役員は会長の推薦を受け、総会の承認を得て決定する。

(会議)

第6条

- 1) 本会の会議は総会及び役員会並びに幹事会とし、その召集は会長が行う。
- 2) 総会は本会最高の決議機関とし、毎年1回開催し予算・決算・事業報告、会則の変更及び会費の決定並びに役員承認等を行う。
- 3) 総会及び役員会の議長は、会長が務める。
- 4) 総会及び役員会の議決は出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は会長の決するところによる。

(役員業務)

第7条

- 1) 会長は本会を代表し、総会及び役員会の決定事項を執行する。
- 2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその業務を代行する。
副会長の内1名はジュニアスクールの校長及び監督を兼務することができる。ジュニアスクール校長はジュニアスクールを統括し、ジュニアスクール事務局長及びジュニアスクール監督、ジュニアスクール中学生ヘッドコーチとともにジュニアスクールの運営を行う。また、会長補佐は会長の特命事項を行い、会長を補佐する。
- 3) 幹事長は会長、副会長の業務を補佐し、会議の開催、事業の執行等を行うとともに、幹事を統括する。
- 4) 副幹事長は会議の開催、事業の執行等に関し、幹事長を補佐する。
- 5) 会計は会費の徴収、事業執行及び慶弔に伴う支払い事務を行い、収支計算書を作成する。
- 6) 監査は業務及び会計を監査する。
- 7) 書記は副幹事長が兼務することができ、総会及び役員会並びに幹事会の議事録等事業に関する事項を記録する。
- 8) 指導コーチは母校ラグビー部の指導を行う。
また、会長の指名によりコーチを統括するヘッドコーチを置くことができる。

(幹事)

第8条

- 1) 本会は原則として各学年ごとに1名の幹事を置く。
- 2) 幹事は幹事長の元で事業執行に関し、会員との連絡調整を行う。

(相談役)

第9条

- 1) 本会に相談役を置くことができる。
- 2) 相談役は会長歴任者及び本会に顕著な功労があった者で、会長の推薦による者とする。
- 3) 相談役は会長の要請により役員会に出席することができる。

(会費)

第10条

本会の会費は年会費及び特別会費とし、そのうちの年会費の金額は役員会

で決定し、総会の承認を得なければならない。
なお、特別会費の金額については、役員会で決定する。

(慶弔)

第11条 会員の慶弔等に対し、役員会の承認を得て金品を贈ることができる。

(会計)

第12条 1) 本会の経費は年会費・特別会費及び寄付金の収入によるものとし、会計年度は毎年4月1日より翌年の3月31日までとする。
2) 会計は毎年収支決算報告書を作成し、監査を受けたうえ総会で承認を受けるものとする。

附則 本会の会則は、昭和62年4月1日より発効する。

附則 本会の改正会則は、平成2年7月29日より実施する。

附則 第3条4の規定は、平成6年7月24日より実施する。

附則 本会の改正会則は、平成10年8月4日より実施する。

附則 本会の改正会則は、平成13年5月1日より実施する。

附則 本会の改正会則は、平成21年6月27日より実施する。

附則 本会の改正会則は、平成25年7月13日より実施する。

附則 本会の改正会則は、令和3年7月4日より実施する。

附則 本会の改正会則は、令和5年7月1日より実施する。

